

トヨタ純正

ソフトトノカバー

取付要領書

このたびは、トヨタ純正ソフトトノカバーをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、ソフトトノカバーの取り付け要領について記載してあります。

取り付け前に必ずお読みいただき、正しく取り付けを行ってください。

別冊の取扱書をWebよりダウンロードして、必ずお客様に渡してください。

品 番

PZQ70-0K020

構成部品

No.	品 名	個数
①	トノカバー	1
②	フロントレール	1
③	クロスボウ	2
④	サイドレール(LH用)	1
⑤	サイドレール(RH用)	1
⑥	T40ボルト (M8×40mm)	1 6
⑦	ワッシャー (φ18)	1 6
⑧	ナットバー (70mm)	6
⑨	ナットバー (60mm)	2
⑩	プロテクトテープ (パッド)	8
⑪	プロテクトテープ (ストライプ)	2
⑫	プロテクトテープ (コーナーLH)	1
⑬	プロテクトテープ (コーナーRH)	1
⑭	取付要領書 (英語) ※	1

※同梱の取付要領書(英語)は使用しませんので破棄してください。

取付要領書(国内版)をWebよりダウンロードしてください。

補給部品

品 番	品 名	構成部品
PZQ70-0K021	トノカバー	①
PZQ70-0K022	フロントレール	②
PZQ70-0K023	サイドレール キット	④、⑤
PZQ70-0K004	プロテクトテープ キット	⑩、⑪、⑫、⑬
PZQ70-0K005	ハードウェア キット	⑥、⑦、⑧、⑨
PZQ70-0K006	クロスボウ	③
PZQ70-0K007	ストラップ	②の構成部品

トヨタ自動車株式会社

取り付け上の注意事項

この取付要領書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

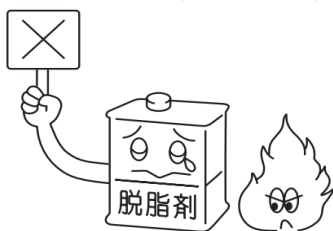
⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたりする等の恐れがあることを記載しています。

注意 … 注意事項を守らないと車両や装備品が破損する等の恐れがあることを記載しています。

👉 アドバイス … スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

取り付ける前に

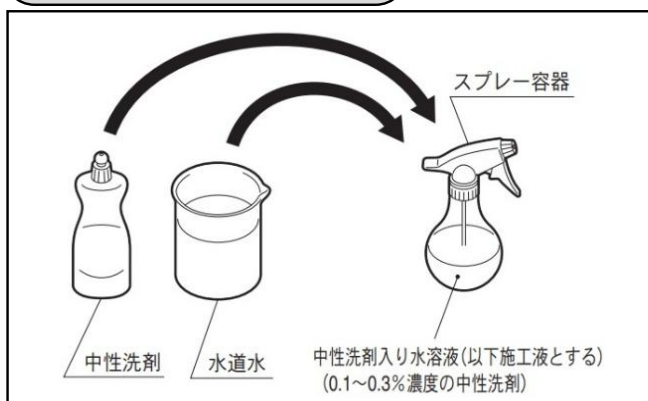
- 脱脂及び脱脂剤等を使用して拭く際、火気を近づけないよう充分に注意してください。
また、取り付け作業時には、車両部品に傷を付けないよう充分注意してください。
- 冬季及び寒冷地（環境温度15℃以下）では、粘着力が低下しますので、フィルム取付面をドライヤー等で温めて取り付けてください。
フィルム自体を温めると変形する恐れがありますので、行わないでください
- ほこりのたたない場所で作業を行ってください。
- フィルムの粘着面に触れる際は、指に中性洗剤入り水溶液（以下、施工液）を塗布してください。



取り付けに必要な工具等

一般工具、トルクレンチ、トルクス（T30/T40）、手袋、はさみ、マスキングテープ、スケール、脱脂剤等【イソプロピルアルコール（IPA）純度100%推奨】、中性洗剤（推奨：界面活性剤約30～35%）、水、スプレー容器、柔らかい布、スキージ、ドライヤー（外気温が15℃以下の場合）

取り付け前の準備

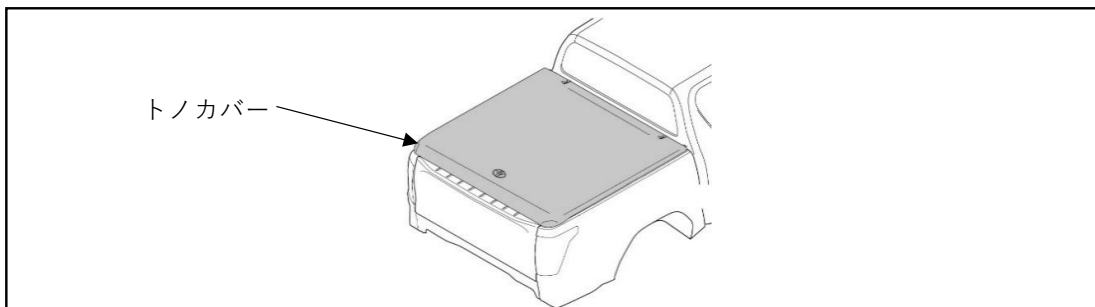


1. 中性洗剤を水道水で0.1～0.3%に薄め、スプレー容器に入れる。

👉 アドバイス

- ・界面活性剤30～35%の中性洗剤を使用した場合の濃度です。
- ・界面活性剤の濃度が異なる場合は施工液の濃度が変わります。

取り付け概要



取り付け要領

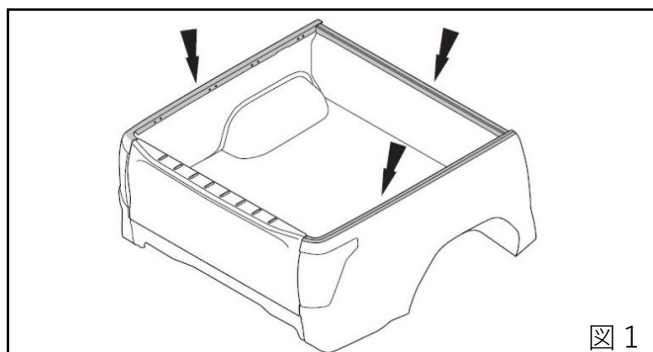


図 1

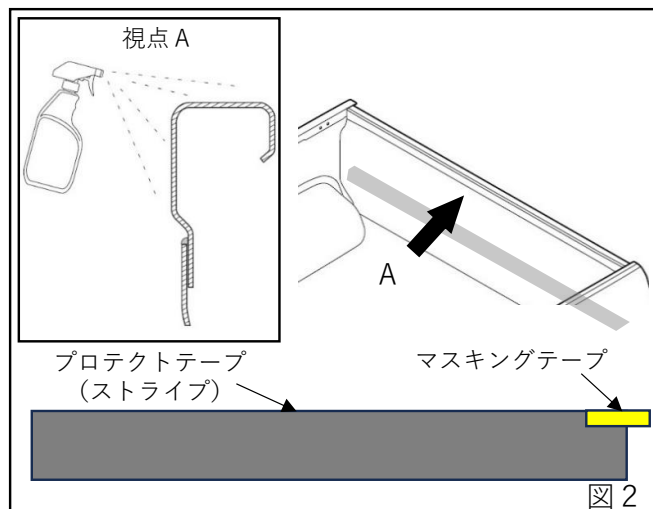


図 2

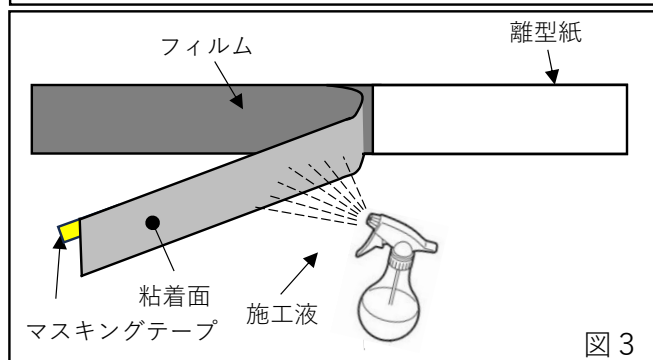


図 3

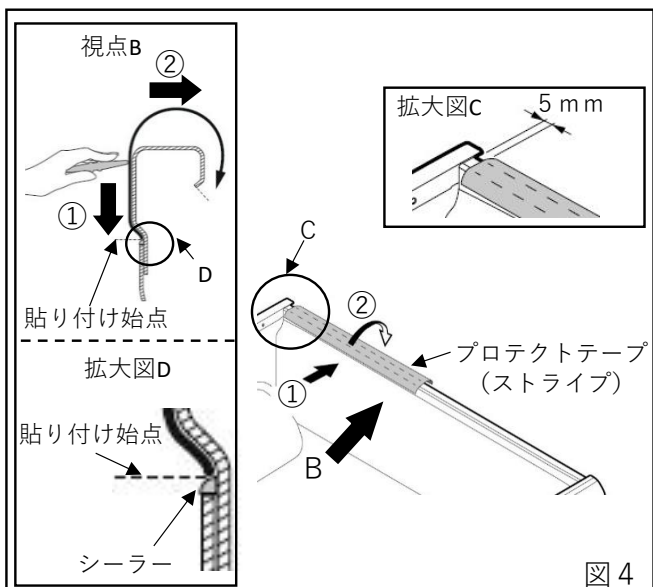


図 4

ソフトノカバーの取り付け前準備

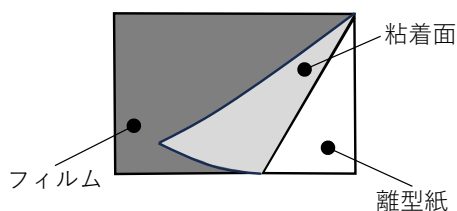
1. 車両荷台の網掛け部の汚れ・ゴミを脱脂剤等で確実に拭き取る。

2. 図2に従い、網掛け部に施工液をまんべんなく吹き付ける。

3. プロテクトテープ（ストライプ）のフィルムにマスキングテープを貼り付ける。

アドバイス

フィルムの構造



4. マスキングテープを持ちながらフィルムを離型紙から剥がし、粘着面全面に施工液を吹き付ける。

注意

・ 離型紙を剥がす際は、フィルム粘着面に触れないよう作業を行ってください。
触れると粘着力が弱くなります。

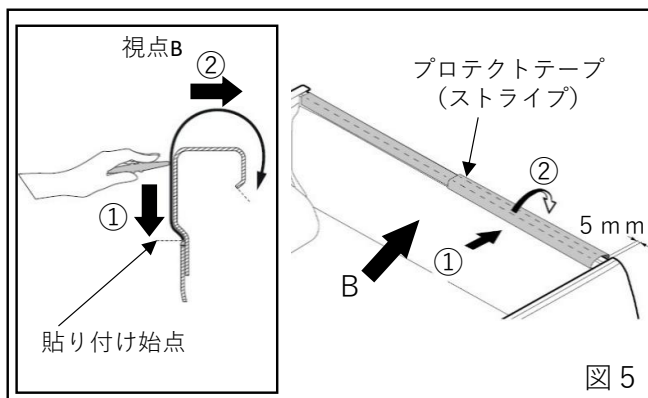
5. 図4に従い、荷台前側の左端から5mmの位置でプロテクトテープ（ストライプ）を①⇒②の順に貼り付けスキージで圧着（49N（5kgf）以上）する。

アドバイス

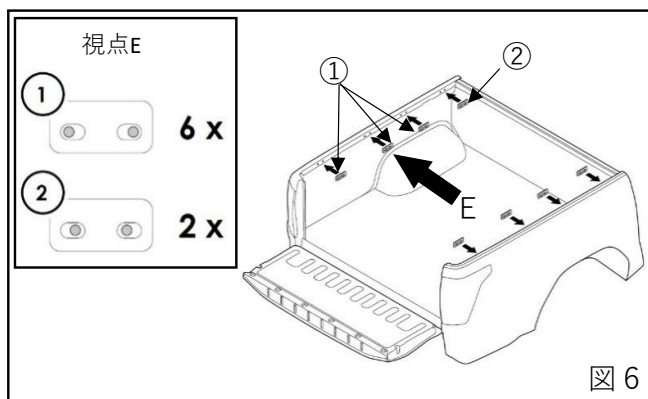
・ 布(ナイロン系)をスキージの圧着部分に取り付けると、滑りがよくなります。

注意

・ 貼り付け面とシーラーをラップさせないよう貼り付けてください。
シーラーの上に貼り付けるとプロテクションフィルム接着力が弱くなります。



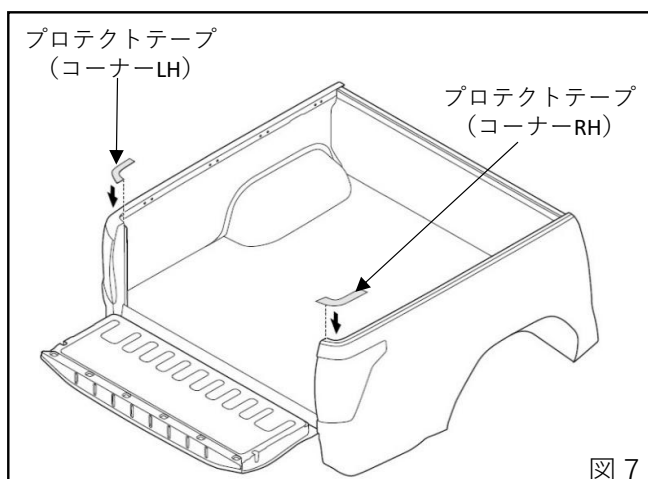
6. 5.同様に、右側もプロテクトテープ（ストライプ）を貼り付け圧着する。



7. 荷台左右のレールの穴に対し、プロテクトテープ（パッド）を貼り付ける。

注意

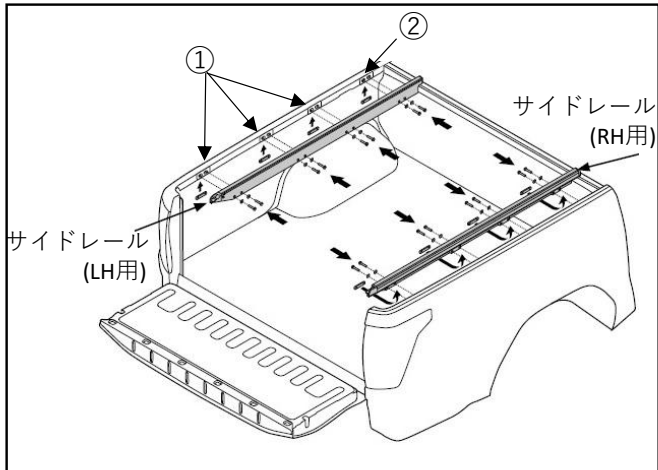
- ・水貼りで無く、から貼りしてください。



8. 荷台左右のレール後端に、プロテクトテープ（コーナー）を貼り付ける。

注意

- ・水貼りで無く、から貼りしてください。



ソフトノカバーの取り付け

1. 荷台左右のレールの穴位置に合わせて
サイドレールをあてがい、サイドレールの穴位置と
ナットバーを合わせて、サイドレール側から
T40ボルトとワッシャーで仮締結する。
2. 車両FR側から順に、トルクス(T40)を用いて
15Nmのトルクで締結する。

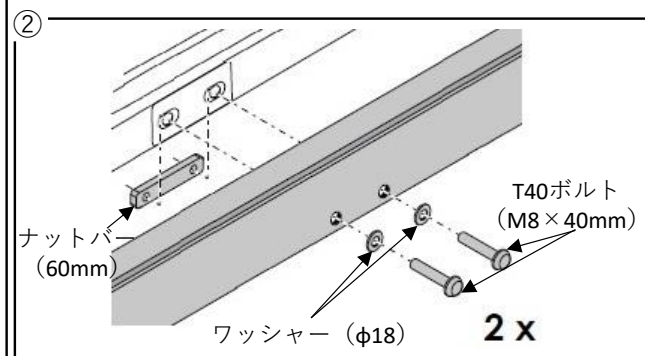
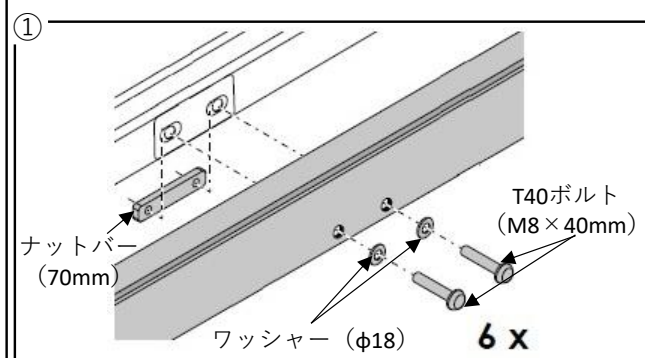


図 8

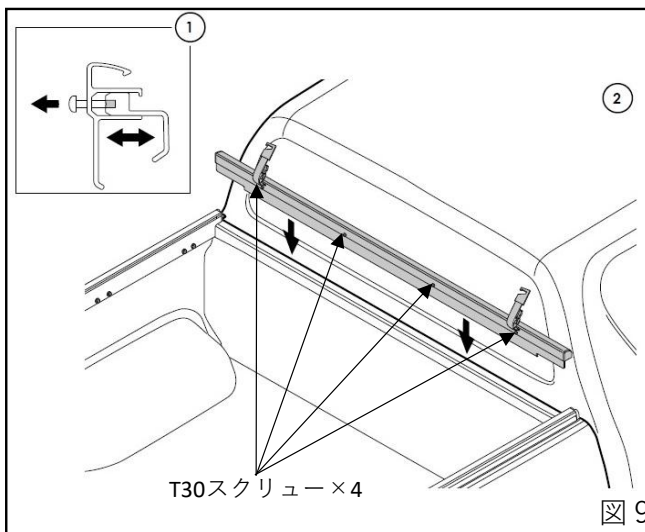
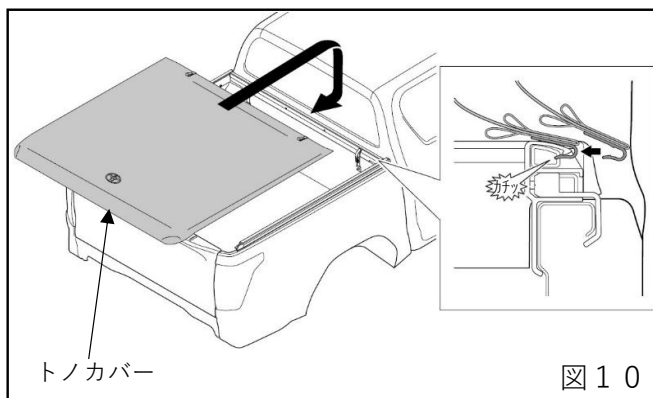


図 9

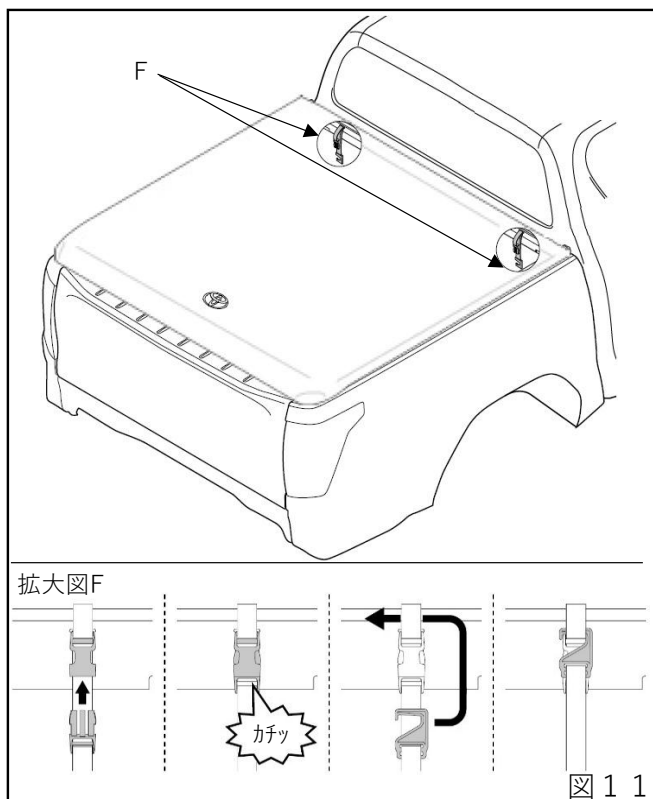
3. 図 9 に従い、フロントレールに締結されている
T30スクリー×4を緩め、①のようにレールを
広げる
4. ②のように、フロントレールの中心と荷台の中心
を合わせて、荷台前側にフロントレールを差し
込む。
5. T30スクリー4本をトルクス(T30)を用いて
5Nmのトルクで締結する。



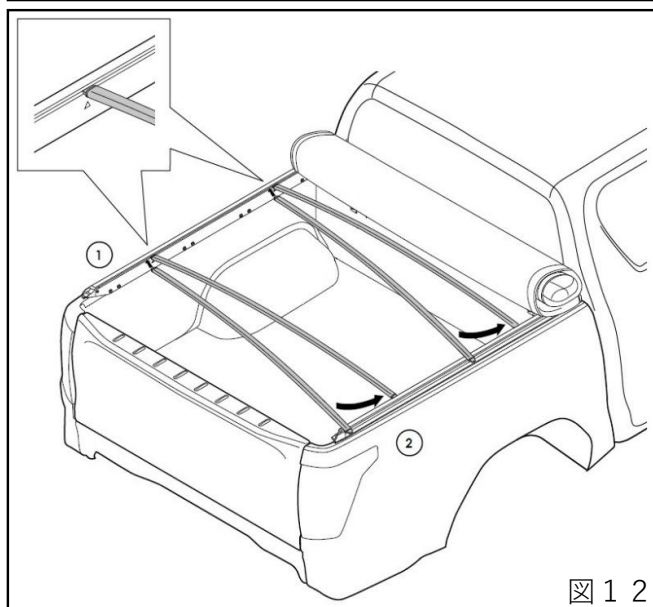
6. トノカバー前端的Jフックをフロントレールに引っ掛け、「カチッ」と嵌合音がするまではめ込む。

注意

- ・必ず2人以上で作業してください。



7. トノカバー前端的ストラップと、フロントレールのストラップを「カチッ」と嵌合音がするまではめ込む。その後、ソフトトノカバーのL型フックをフロントレールのベルトに引っ掛ける。



8. トノカバーを巻き上げる。
サイドレールの△マークを目印にして、
①のようにサイドレール(LH用)にクロスボウを差し込み、②のようにクロスボウをスライドしながらサイドレール(RH用)に差し込む。

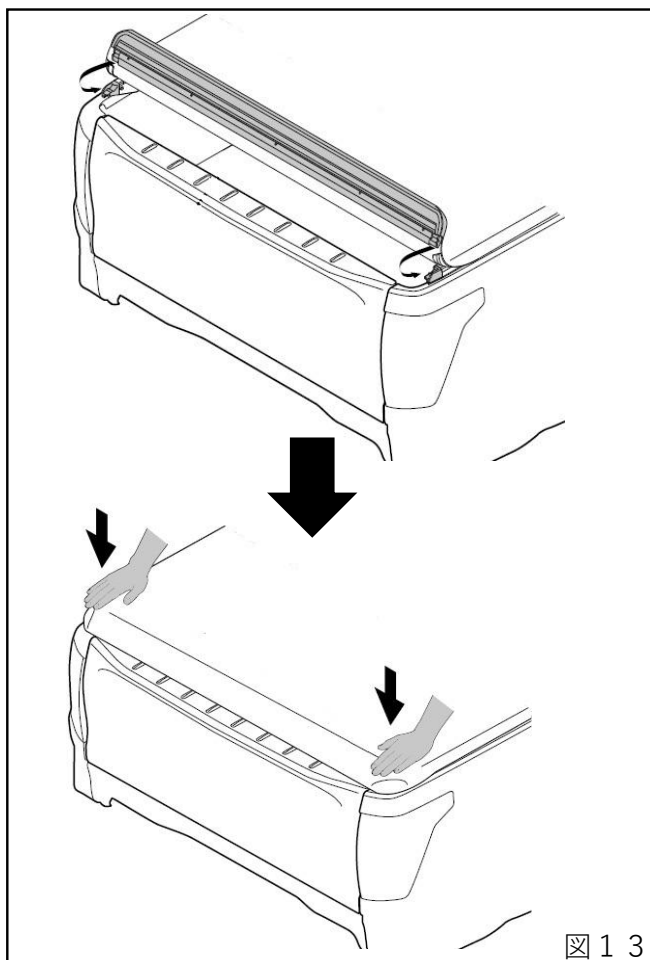


図 1 3

9. トノカバーを再度展開し、後端のラッチ部分がサイドレールの後端に引っ掛かるよう差し込み、上から力を加え確実にロックさせる。

⚠ 注意

- ・ソフトトノカバーがしっかり閉まっているか、後端を持ち上げて確認してください。閉まりきっていない場合、走行中にカバーが外れて脱落し、事故につながる恐れがあります。

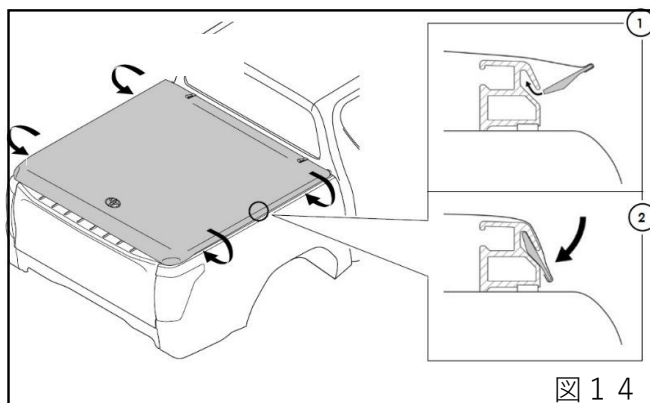
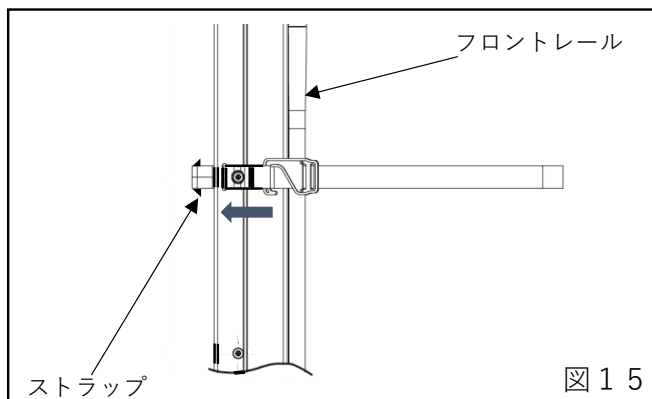


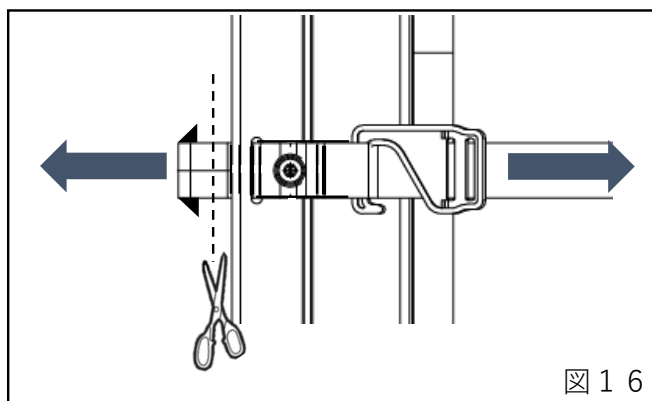
図 1 4

10. トノカバー両側のJフックを前から後ろまで、サイドレールに差し込む。



ストラップ(補給部品)の交換方法

1. フロントレールに付属しているストラップを押し込み、先端を引き出す。



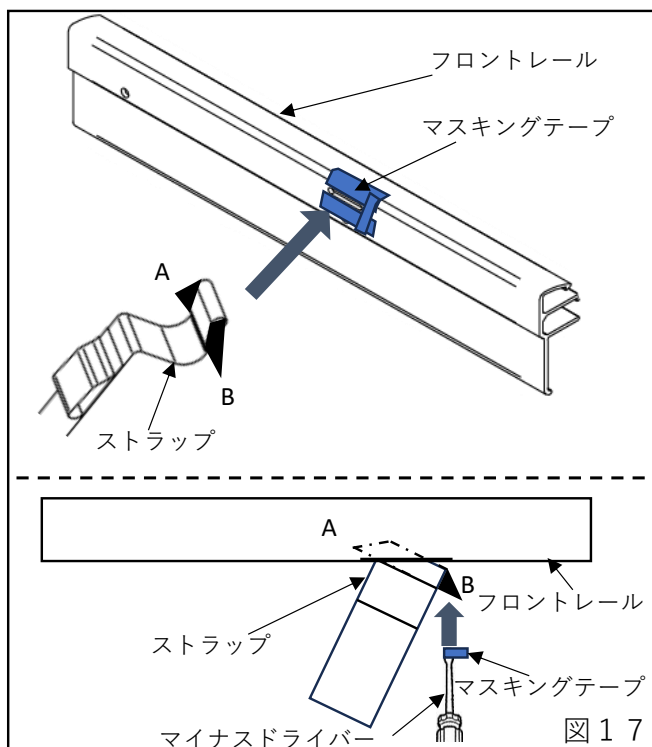
2. 引き出したストラップを切断し、前後に引き抜く。

⚠ 注意

- ・ ストラップをカットする際に、はさみを
使用する場合は、ケガをする恐れがあるため
ケブラ手袋を着用してください。

👉 アドバイス

- ・ 切断したストラップは廃棄してください。



3. フロントレールの穴の周辺にマスキングテープを
貼り付け傷つかないように保護する。
4. 補給部品のストラップをフロントレールの穴に対し、
片側から斜めに差し込む。(左図 A側)
5. マイナスドライバーのような先端が平たい工具の先に
マスキングテープを貼り付け保護し、工具で
ストラップのもう片側(左図 B側)を押し込む。

⚠ 注意

- ・ ストラップを差し込んだ後、手前に引っ張り
ストラップが外れないか確認して下さい。
ストラップが外れると、走行中にカバーが外れて
脱落し、事故につながる恐れがあります。

取り付け完了後の点検・注意事項

- (1) ソフトノカバー及びレールが荷台に確実に固定されているか点検してください。
- (2) ソフトノカバー、レール及び車両部品に傷を付けていないか点検してください。